

# 議会報告会・意見交換会報告書

平成30年6月25日

茅ヶ崎市議会議長 白川 静子様

(委員会名)	総務常任	委員会
(委員長名)	岩田 はるみ	
(委員会名)	教育経済常任	委員会
(委員長名)	山田 悦子	

議会報告会・意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年5月23日(水) 13時30分 ~ 15時			
場 所	市議会全員協議会室A			
出席議員	岩田 はるみ	菊池 雅介	和田 清	沼上 徳光
	岸 正明	青木 浩	榎木 太郎	
	山田 悦子	水本 定弘	豊嶋 太一	中野 幸雄
	水島 誠司	白川 静子		
参加人数	11 人			
議会報告会	<b>【報告の内容】</b> (報告者) <u>沼上 徳光</u>  <b>【質疑応答の内容】</b> 別紙「議会報告会の質疑応答の概要」のとおり			
意見交換会	<b>【意見等の内容】</b> 別紙「意見交換会の概要」のとおり			
議会報告会・意見交換会から抽出した課題	別紙「議会報告会での課題について」及び「意見交換会での課題について」のとおり			

## 議会報告会での課題について

課題	議会報告会での意見等	議会報告会での議会側の対応
議会評価のあり方について	「いじめ防止対策推進事業」、「地域福祉活動支援事業」、「柳島キャンプ場管理運営事業」と「公共サインガイドライン推進事業」について、議会評価では拡充となっているが、予算としては減少になっているのはなぜか。	「柳島キャンプ場管理運営事業」は、企業に委託という手法に変更することにより税金投入は0円となっている。「いじめ防止対策推進事業」は、予算は減っているが内容を充実させているので議会評価は拡充とした。 「公共サインガイドライン推進事業」は、初期投資がかかるが、その後は減っていくことになる。金額を増したから手厚くなる訳でないことを理解してほしい。「地域福祉活動支援事業」は、29年度にボランティアセンターの移転や新設が終わったこと、ボランティア活動をしていただく人の育成として社会福祉協議会に補助金として出していたものを委託費に回したので減額となったが、議会評価の結果、より内容的に力を入れる事業に変わっている。
体験学習施設について	体験学習施設について、国の補助金が付かないのはなぜなのか見解を伺う。	公共施設整備・再編計画で、合築となったが、体験学習施設の使用目的が多様化しているために分かりづらくなっている。福祉会館の跡地は、なるべく売却しないようにと意見を出していたが、売却の方向となり、集合住宅は建てられないし、緑地を増やす形で進んでいくと思われる。
下水道整備について	豪雨時の市内各所の浸水問題、中海岸・柳島などの悪臭の問題、終末処理場の能力問題など下水道がどうあるべきか根本的な議論をすべきではないか。	下水道整備は28年度末現在で、汚水は98%、雨水の年整備率は54.2%という状況である。「公共下水道施設維持管理計画」に基づき着実に対策が進められ、柳島ポンプ場の老朽化に関しても3年計画で更新が進んでいる。 終末処理場は近年の異常気象による豪雨で、悪臭の問題が発生している。改善するには、県との連携が必要であるができていない状況である。 中海岸について、134号線の貯留管に溜めるようになっているが、溜める限界を超えると一緒に流れてしまい悪臭問題が発生してしまう。国・県とも含めた中で抜本的な対策が必要である。雨水の枝線整備については後手に回っていることを認識している。
厳しい財政難に対する議会の対応について	厳しい財政難に直面しているのは、失敗の結果と思われるが、議会の分析はどうか。	税収の落ち込みが原因と考える。議員個人でも議会としても税金が適切に使われなければならない意識のもと、議会として予算編成は責任を持ち事業評価を行うなど対応している。 行政側も2017年に「C3成長加速化方針」で、危機的な状況の対応方針を出していて議会も苦しい財政を行政と共に考えて行動している。問題は第4次実施計画を完遂すると財源が全く足りないことで、最終年度には優先すべきものを先にし、事業も延期されている。10年単位の総合計画のやり方でよいのか、国任せではない運営をすべきという考えがあることを理解してほしい。
経常収支比率のチェックについて	第4次実施計画で、収支予想が400億以上マイナスとなっているが、優先順位をつけてバランスの取れる財政計画を作り、議会が財政運営のチェックをすべきである。経常収支比率が非常に高いのは問題なので、経常収支比率をしっかりとチェックしてほしい。	意見として承る。

※ 「議会報告会での意見等」欄には、課題として抽出した内容について、議会報告会の中で具体的にどのような意見等があったかを記載してください。

※ 「議会報告会での議会側の対応」欄には、議会報告会の中で、その意見に対して議会側がどのような対応(回答)をしたかを記載してください。

## 意見交換会での課題について

課題	意見交換会での意見等	意見交換会での議会側の対応
道の駅整備推進事業について	道の駅整備推進事業について、覚書の作成、設置管理条例の作成等はプロセスを組んで市の所管課で行ったかどうか。プロポーザルを行わなくてよいものについては、行わないなど予算特別委員会でもう少し協議してもらいたい。	道の駅についても近年さまざまな手法がある。また、地域ブランドの創生ということでも本市から見た価値観と標的とする相手から見た価値観では違いがある。そのようなことを精査する事業を職員に行わせてよいのかという問題もあり、経験値がある所に任せてはとのことでプロポーザルという手法がある。市では、時間や費用などを踏まえた中でどの手法を選択するかを考え、プロポーザルの方が有効と判断した場合、プロポーザルを選択している。職員に行わせるというのも1つの考えとして真摯に受け止める。
茅ヶ崎市民文化会館再整備事業について	茅ヶ崎市民文化会館再整備事業について、予算が30億円強計上されている中で、実際の工事概要の看板をみると工事金額47億880万円と市民に公表されている。市民の目線で考えると追加の費用が予算の50%を上回る金額となった時、再度業者と協議し、予算になるべく近い金額に落ち着くというのが基本である。その点について、議会ではどのように考えているのか。市民が誤解を招かないような工夫をしてもらいたい。	看板に掲示されているのは、総事業費で、平成27年から平成30年までの事業となっているので、その事業費が約50億円で、議会だよりに掲載されているのは本年度の予算である。市は単年度で計上するので、総事業費と見比べると誤解を招きやすい。別途費用がかかる場合、その補正予算を議会でも審議している。意見は真摯に受け止め、掲示の方法についても検討するよう議会としても対応していく。
公共施設での勉強会について	国会でも憲法についてさまざま議論があるが、市議会議員が発起となって公の施設などで勉強会を開催してもらえないか。	憲法の議論をこれから進めていくべきということをも本市議会でも決議を出している。国民的議論が必要とのことで、さまざまな所で話題となっているが、公共施設によっては政治の問題を取り上げられない所もある。そのため、全ての施設で行うことは難しいが、民間の施設では頻繁に行ったりと勉強会を全く行っていないというわけではない。
会議録音データの取扱いについて	茅ヶ崎市のいじめ問題の録音データの取扱いについて、第三者委員会に提出すべき資料15枚のうち、12枚が口頭で説明済みとのことで未提出となっている。茅ヶ崎市の場合、条例とかで録音データを公文書としていない。そのため、情報公開で録音データを確認したくてもできない。録音データを公文書として取り扱わない条例にしたままとしているのであれば、そのままでもよいが、放置した責任は議会にあるので、議会としての考えを伺いたい。	情報公開といっても個人の情報に関することについては公表されない。議事録についても、データのおこし等、さまざまあるので、そういったシステムの見直しは必要となってくる。録音データを公文書としている市については、そういったシステムを精査した上で認めている。市議会でも改善に向け、調査研究していく。
柳島スポーツ公園へのバス運行について	柳島スポーツ公園について、素晴らしいバス停もあるので、神奈川中央交通のバスやコミュニティバスなどが走行できるように提起してほしい。	意見として承る。

課題	意見交換会での意見等	意見交換会での議会側の対応
イベント開催者に対する支援について	茅ヶ崎映画祭といった手作りのポスターなどの配架は少なく、情報が少ない。広報場にポスターなどを貼るなど、イベントを行う者へのサポートをしてほしい。また、イベントを行う方は、経営の時間を削ってまで作業をしている。そのような方への支援も検討してほしい。	意見として承る。
里親研修について	茅ヶ崎市には3つの施設とつばさの家という自立支援の施設があり、異色である。神戸市では、公務員を里親にしようという動きがある。茅ヶ崎市でも、議員や職員に研修を行い、最終的に里親になることを検討してほしい。	意見として承る。

※ 「課題」欄には、意見交換会で出された意見等の中から、課題として抽出した内容を記載してください。

※ 「意見交換会での意見等」欄には、課題として抽出した内容について、意見交換会の中で具体的にどのような意見等があったかを記載してください。

※ 「意見交換会での議会側の対応」欄には、意見交換会の中で、その意見に対して議会側がどのような対応(回答)をしたかを記載してください。